

# 東北地方太平洋沖地震の対応について

## 地震発生

3月11日午後2時46分頃に三陸沖で発生した国内観測史上最大規模の地震（東北地方太平洋沖地震）による被害は、依然として全体が明らかではありませんが、時間の経過とともに犠牲者および行方不明者の数が増え、物的被害の状況も徐々に明らかになってきており、その状況は想像をはるかに超え、心痛を増すばかりです。さらに、福島第一原子力発電所での事故も追い打ちをかけ、広い地域に影響がでております。本町では、幸いにも人的被害もなくライフラインへの影響も最小限にとどまったところです。



▶地震発生直後、災害対策本部を設置し、町内の被害状況を確認。

## 避難者の状況

町では、被災地支援として震災の影響を受けた避難者のために、3月17日から町内4カ所に避難所を開設し、最大83人のかたを受け入れました。ほかに町内の親戚宅などに50数人のかたが避難されております。

被災者支援につきましては、今後、県とも連携し長期的な受け入れも視野に入れながら、避難されて来られるかたの立場に立った対応を行ってまいります。

## 気仙沼市への支援

気仙沼市に対する支援として、町民の皆さまから毛布や白米など多くの物資を提供いただき、救援物資として2回（3月16日、23日）届け、4月6日には、ランドセルや下着などの物資に加え、3月30日まで集まった義援金と町からの見舞金を届けてまいりました。

さらに、現地では依然、飲料水の確保が難しい地域があり、3月17日から給水車と町職員及び白鷹町水道工事組合各社の職員を交代で派遣し対応にあたっております。



▶3月16日、23日の2回、町民の皆さまからいただいた支援物資などを、気仙沼市に届けました。

## 原発事故の影響

原発事故による放射能の影響は、本町の農産物のうち「ホウレンソウ」と「原乳」の検査が行われましたが、どちらも食品衛生法に基づく暫定規制値を下回っており安全であることが確認されております。水道水は津島台浄水場で検査したほか、山形市と米沢市の水道で定期的に検査されており、原子力安全委員会が定めた指標値を大幅に下回っており、健康に影響があるレベルではないので日常生活で特別の措置をとる必要はないとの報告を受けております。しかしながら、引き続き、正しい情報を的確に集め、町民皆さまの安心安全な生活の確保に努めてまいります。



▶地震発生直後の様子（役場）。

## 町内の状況

町内においては、地震発生直後、町長を本部長とする「白鷹町災害対策本部」を設置し、町内の被害状況などの確認を行いました。人的被害など、大きな被害はなかったものの、停電は、町内全域で約30時間にも及びました。

その間、一人世帯を対象に健康福祉センターに避難所を設置し、消防団による巡回も行いました。

また、物流の停滞により燃料や物資の確保が難しい状況が続いております。特に、燃料につきましては、関係機関、町内事業所のご協力をいただき緊急車両をはじめ公共施設や福祉施設などを優先に確保していただきました。